

「我々の国家の宝である青少年の成長を守ろう」の理念新た



2022年度事業計画を作成

日本ポニーベースボール協会は22日の理事会で2022年度の事業計画を作成した。「PO

ロングパンツ着用、スパイク色混在認める

個人の嗜好(しこう)により自由にし、チーム内でロングとショート

「スーパードリーク」を打ち出し、選手たちが硬式野球に夢中になれる環境作りに取り組んできた。22年も大きな一歩を踏み出す。

5月1日に開催、選手たちの肩・肘を検診

コロナ禍のため20、21年と中止になったポニーフェスタを22年5月1日に開催



選手のケガ防止対策もさらに進められる

「障害は予防できるものである」という考え方のもと、ポニーは他団体に先駆け投球数制限のルールを設け中1には変化球も禁止し、同日の連投、投手と捕手との兼務を禁止するなど、野球障害の予防に積極的に取り組んでいる。

7月23〜27日、春季大会勝ち抜いた64チーム

春から全国各地においてリーグ戦形式で行われる春季大会を

21年まで7月下旬に全日本選手権ポニー大会と全日本選手権理事長杯大会という2つの全国大会が首都圏で並行して開催されてきた。22年からはこの2大会を一本化し、7月23〜27日の5日間で全日本選手権として開催する。



勝ち抜いた64チームが集まり、トーナメント方式で争われる。1年生チームが出場するポニーブロンコ大会は引き続き全日本選手権と並行して開催される。開会式と決勝、閉会式は例年通り東京・江戸川区球場を予定している。

目指せ世界一！5月4、5日に日本代表選出

開催することができなかった。アジア大会開催の可否は依然として先行きが見えないが、それでも日本代表に選ばれることはポニーリーガーにとって大きな目標だ。その夢を実現させるため、22年は広澤克実杯を5月4、5の両日に行い、日本代表を選考する。開催場所については震災復興への貢献という意味も込めて、宮城県内を予定している。

全世界に組織を持ち、国際大会、親善試合による国際交流を積極的にやってきたが、コロナ禍により20、21年は国際試合を

また、8月には米国代表が来日し、日米親善交流大会が開催される。

8月11〜14日、東北地区・九州地区で開催へ

開催日程は8月11〜14日の4日間。東日本大会は東北地区、西日本大会は九州地区で開催する

また、東北連盟が発足し団体数が増えていることから、北海道・東北大会を新設する。こちらは8月20、21日、北海道北斗市で開催される。

東日本、西日本、北海道・東北大会新設

21年は16団体が新規加盟した。各地に団体が増えてきたことから、東日本大会、西日本大会を新設することが決まった。